

一般社団法人 日本医学物理学会
平成 26 (2014) 年度 第 4 回理事会議事録 (抄)

日時:平成 26(2014)年 9 月 26 日(金)15:45-17:40

場所:BEXCO, Busan, Korea

出席者:松本、齋藤、赤羽、荒木、有村、奥村、川村、榮、西尾、福士、福田、福村、門前、和田(理事)
豊福、櫻井(監事)

欠席者:新保、小口(理事)

参会者:遠藤、垣花、(大会長)、小澤、石川、小泉(委員長)、水野(総務委員)

議題:

1. 前回議事録の確認
2. 新入会員・退会者の承認
3. 第 107 回大会報告について
4. 第 108 回大会について
5. 第 109、110、111、112 回大会の準備状況について
6. 研究成果報告奨励金(KJMP)選考結果について
7. AOCMP2014 向け研究成果報告奨励募集について
8. AOCMP2014Congress in Vietnam の現状について
9. 2014 市民公開講座について
10. 公益法人化検討状況について
11. 委員会報告
12. 医学物理士認定機構の現状について

資料:議案書冊子、国際交流員会からの議題、公益社団法人化検討状況

回覧:2014 市民公開講座関連資料、防護委員会報告資料

議事

出席者・参会者、定足数確認の後、松本会長が議長に就き、開会を宣言し議事に入った。

1. 前回議事録の確認

資料1により総会・前回議事録案を確認依頼があり、コメントがあれば申し出ることになった。

2. 新入会員・退会者の承認

資料2に基づき、会長より6月1日－8月31日の入退会・資格変更が報告された。一部要確認箇所を保留して、原案通り承認した。これにより会員総数は、8月末時点で2,236名となった。なお、会員資格について、以下の議論がなされた。

医学物理士認定者で、正会員から学生会員に会員資格変更されるものがあるが、本来JBMPの認定規定からすれば、JSMPあるいはJRSの正会員でないとダメではないか。

その通りであり、JSMPとしてはその旨、本人に警告は出すが、拒否はできない。(会長回答)

JBMPとしては、更新認定の際に審査することになるが、その途中経過は調べようがない。(JBMP理事を兼ねる理事)

3. 第107回大会報告について

大会長より、会計報告が前回資料に掲載しておらず、後日確認することが述べられた。

4. 第108回大会について

大会長より、参加者は300名を超えた旨、報告があった。次回の理事会に正確な数値を報告する。

5. 第109、110、111、112回大会の準備状況について

<第109回大会>

資料に基づき、大会長より準備状況が報告された。また、国際化について、外国人の旅費援助およびスライドの英語化について議論がなされた。外国人の旅費援助に関しては、大会長の裁量で、教育講演資料の売上や、企業などからの広告収入等の大会費で対応できるなら行うこととなった。スライドの英語化については、春は2015年からJRCと足並みを揃えて英語化することとなった。留意点として、ホームページ等での事前の公示活動をしっかりやることとなった。なお、プレゼンテーションの英語化については、プログラム委員会が演題を抽出して演者に推奨する形にし、報文集を見ればプレゼンの言語がわかるようにすることとなった。なお、報文集は英語日本語両方を作成する。ただ、日本語で申し込まれた演題については英文も報文集に登録してもらおうが、英語で申し込まれた演題は英語オンリーの表記とする。

<第110、111回大会>

大会長不在のため、なし。

<第112回大会>

大会長より、準備状況について報告された。

JSRT は、今年度から倫理委員会を通したかを演題登録時にチェックし、通していないものはすべて Reject しており、JSMP もそうすべきでは。(出席理事 A)

すべて通す必要があるのか。(108 回大会長)

通す必要がないとの倫理委員会の回答があればよい。(出席理事 A)

人のデータを使う場合は必要だが、一律に必要なのか。(出席理事 B)

物理的な実験も患者診療のためにやっていたら倫理委員会に諮る必要がある。(出席理事 A)

まず、JSMP としてどうするかを決める必要があるのでは。(出席理事 C)

そもそも倫理委員会を持っていない施設も存在し、施設毎に倫理委員会の方針も違う。この方針を決めて、学会員に提示しないとイケない。(出席理事 B)

対象にならないものもすべて倫理委員会承認の有無の確認を義務化するの如何か。(108 回大会長)

個人でそれを判断する形もあるのでは。(出席理事 C)

大学では何か研究をやる時点で申請している。(出席監事)

学会としてこれは倫理委員会を通す必要がある、等を示すことも必要では。(出席理事 D)

すべて倫理委員会に諮るのは、誰かに訴えられることを避けたい目論見もあるのでは。(出席理事 E)

以前、倫理委員会に諮っていないために演題を全部 Reject されたことがある。(出席理事 A)

利益相反の申告については、現在では当然のように求められるが、倫理委員会に諮る話はまだそうになっていない。JRC が全体としてその方針になる際に、詰めないといけない。(会長)

6. 研究成果報告奨励金(KJMP)選考結果について

国際交流委員長より、資料に基づき説明があった。22 名応募があり、20 名を選考した。昨日、担当理事とポスター掲出等が確認できたので全員に支給する予定。

7. AOCMP2014 向け研究成果報告奨励募集について

国際交流委員長より、資料に基づき説明があった。応募があったものについて現在国際交流委員会内で審議を開始している。審査規約を作った方がよいとの意見があり、委員会内で作成し、それに基づいて審議している。その案について意見があればコメントをお願いしたいとの依頼に対し、特段の意見はなく、理事会で了承された。

8. AOCMP2014Congress in Vietnam の現状について

国際交流委員長より説明があった。現在約 200 演題集まっている模様である。参加登録者が 300 名近いのに、振込が 65 名しかまだない。日本からは 1 名がプログラム作成に関わっている。

9. 2014 市民公開講座について

資料に基づいて、理事より説明があった。ポスターを 200 枚作成し、東京都各区機関、病院、文科省・厚労省等の記者クラブに投函した。しかし、参加者は少なく、見た顔(同業者)が多かった。一般の方は高年齢の方と、かなり若い方だった。アンケートは良好な結果であった。今回は KJMP があったので単独で開催したことも参加者が少なかった要因の一つと思われる。また、場所・日時も要因として考えられ、今後の検討に活かしたい。来年は北海道で行う予定。

10. 公益法人化検討状況について

担当理事より資料に基づいて報告があった。すでに公益法人になっている JSRT や JASTRO の経験などの情報交換がなされた。トータル半年くらいは申請してからかかることが予想され、専門家と相談しながら、可能であれば来年度の早い段階で申請を行う方向となった。

11. 委員会報告

(ア) 教育委員会

委員長より資料に基づいて報告あり。アンケート結果にも場所が好評だったことや、3 年間同じ場所で行う原則より、来年も同じ場所(広島)で開催したいとの委員会側の希望が理事会で了承された。E-learning 配信については、現在は参加者のみを対象にしているが、将来的にコンテンツが増えれば会員向けの可能性もある。ただしサーバーを設置することになる費用負担の問題があることも留意点として挙げられた。

(イ) RPT 誌

担当理事より資料に基づき説明があった。英文校閲担当者の高齢化により、今後は専門業者に依頼することを予定しており、その予算措置についての希望があった。JSRT との費用按分が現在会員数比率であり、比較的こちらの負担は軽い。これを維持するためにも、例えば冊子体配布の辞退を増やす必要がある。来年度から冊子体配布は希望者のみとする方向で調整することとなった。

(ウ) 防護委員会

担当理事より資料に基づき説明があった。

(エ) 教科書編集 ad hoc 委員会報告

委員長より、すでにメールでドラフトが配布されているため、意見を求めるとの説明があった。

12. 医学物理士認定機構の現状について

JBMP 理事を兼ねる理事より放射線医学物理師(仮称)の国家資格化の動きについて進捗の状況が報告された。先に代議士を訪ね、国家資格化の陳情を行った。また、放射線医学物理師法案を弁護士と作成し、今後議員立法を目指す。放射線関連 6 団体会合(JRS、JBMP、JASTRO、JSMP、JSRT、JART)。技師会より、業務の職域について質問あり。また、理工系が医療現場でやっていけるか質問もあり、回答した。今後、推進協議会を結成し、実現への動きを加速したい。説明後、下記のやり取りがあった。

粒子線治療に特化してまずは国家資格化することはどうか？(出席委員長)

現在やっている人を排除してはいけない。名称独占・業務独占が入っているので、慎重に検討していかなくてはならない。(JBMP 理事を兼ねる理事)

後は報告事項のみなので、次回に持ち越しとなった。議長は 17:40 に閉会を宣言して散会した。